



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社大垣共立銀行
コード番号 8361 URL <https://www.okb.co.jp>
代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 境 敏幸
問合せ先責任者 (役職名) 統括執行役員総合企画部長 (氏名) 五藤 義徳 TEL 0584-74-2111
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 特定取引勘定設置の有無 無
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	102,558	12.1	10,326	△2.2	7,162	4.0
2023年3月期第3四半期	91,432	6.8	10,568	△25.2	6,885	△26.4

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 26,585百万円 (－%) 2023年3月期第3四半期 △33,455百万円 (－%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	172.07	171.85
2023年3月期第3四半期	165.40	165.24

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	6,619,119	311,758	4.7
2023年3月期	6,671,147	288,073	4.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 311,646百万円 2023年3月期 287,977百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算定しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2024年3月期	—	35.00	—		
2024年3月期（予想）				35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,100	7.7	6,200	28.4	148.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	41,831,897株	2023年3月期	41,831,897株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	209,593株	2023年3月期	208,068株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	41,622,933株	2023年3月期3Q	41,624,589株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
3. 四半期決算補足説明資料	8
(1) 損益の状況【単体】	8
(2) 貸出金等の状況	9
(3) 自己資本比率（国内基準）	10
(4) 預金・貸出金等の状況【単体】	10
(5) 有価証券の評価損益	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、緩やかな回復が続いています。個人消費は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5月に変更されたことで経済活動の正常化が進み、飲食・宿泊などのサービス消費が増加しています。ただ、2023年春闘の賃上げ率が約30年ぶりの高い水準となりましたが、物価上昇がそれを上回っており、消費回復の重石となっています。一方、インバウンド消費は、円安効果もありコロナ前の水準を取り戻しています。設備投資は、高水準で推移する企業収益を背景とし、人手不足やデジタル化、脱炭素化への対応のために持ち直しの動きを続けていましたが、足元では足踏み感がみられます。

当社グループの主要な営業地域である東海地方の経済におきましては、主要産業である自動車産業は半導体不足の影響が和らいだことから、高水準の生産が続いています。また、好調な自動車の輸出がけん引し、名古屋税関の輸出額は記録的な高水準が続いています。

金融環境を振り返りますと、日米金利差から円安進行が続きましたが、11月からは米国の金融政策転換への期待が高まり、円高に反転しました。日経平均株価は、円安の進行や企業業績の回復などを受けて好調に推移し、年末終値としては1989年以来、34年ぶりの高値となる3万3,464円で取引を終えました。

このような金融経済環境のもと、当社は中期経営計画「『Let's Do It!』～社員輝き 地域伸びゆく～」の最終年度として、「お客さまの共感と感動を呼び、地域に必要とされる企業グループ」を目指して、本部・営業店・グループ会社が一体となり積極的な業務展開を図ってまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、経常利益103億26百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益71億62百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態につきましては、総資産が6兆6,191億19百万円（対前期末比520億28百万円減少）、純資産が3,117億58百万円（対前期末比236億85百万円増加）となりました。

主要な勘定残高につきましては、貸出金4兆5,226億38百万円（対前期末比243億84百万円増加）、有価証券1兆2,524億42百万円（対前期末比1,672億67百万円減少）及び預金等5兆7,611億81百万円（対前期末比192億61百万円増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月10日に「2024年3月期 第2四半期（中間期）決算短信」にて公表しました、2024年3月期通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
現金預け金	501,970	592,676
コールローン及び買入手形	2,537	2,411
買入金銭債権	2,799	3,564
商品有価証券	228	185
金銭の信託	4,950	4,971
有価証券	1,419,709	1,252,442
貸出金	4,498,254	4,522,638
外国為替	5,651	5,003
リース債権及びリース投資資産	83,315	80,796
その他資産	111,276	115,204
有形固定資産	31,284	31,643
無形固定資産	5,752	6,437
退職給付に係る資産	11,766	12,651
繰延税金資産	3,855	1,499
支払承諾見返	16,460	16,631
貸倒引当金	△28,650	△29,624
投資損失引当金	△15	△15
資産の部合計	6,671,147	6,619,119
負債の部		
預金	5,691,355	5,709,284
譲渡性預金	50,565	51,897
コールマネー及び売渡手形	17,893	—
売現先勘定	35,085	23,185
債券貸借取引受入担保金	111,477	81,887
コマースナル・ペーパー	—	2,999
借入金	377,889	329,855
外国為替	880	529
社債	3,000	2,700
信託勘定借	1,231	1,193
その他負債	71,933	77,172
賞与引当金	1,592	39
退職給付に係る負債	799	800
役員退職慰労引当金	39	32
睡眠預金払戻損失引当金	114	87
ポイント引当金	861	902
特別法上の引当金	0	1
繰延税金負債	36	6,306
再評価に係る繰延税金負債	1,855	1,855
支払承諾	16,460	16,631
負債の部合計	6,383,073	6,307,361

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
資本金	46,773	46,773
資本剰余金	42,362	42,362
利益剰余金	179,968	184,217
自己株式	△402	△405
株主資本合計	268,702	272,948
その他有価証券評価差額金	16,860	36,604
繰延ヘッジ損益	△1,374	△1,614
土地再評価差額金	1,813	1,813
退職給付に係る調整累計額	1,975	1,894
その他の包括利益累計額合計	19,275	38,697
新株予約権	96	111
純資産の部合計	288,073	311,758
負債及び純資産の部合計	6,671,147	6,619,119

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
経常収益	91,432	102,558
資金運用収益	39,039	37,343
(うち貸出金利息)	27,243	27,765
(うち有価証券利息配当金)	10,961	9,134
信託報酬	0	0
役務取引等収益	13,818	15,953
その他業務収益	4,266	1,435
その他経常収益	34,307	47,824
経常費用	80,864	92,232
資金調達費用	3,544	5,964
(うち預金利息)	246	301
役務取引等費用	6,578	6,622
その他業務費用	6,154	13,118
営業経費	31,822	31,801
その他経常費用	32,765	34,725
経常利益	10,568	10,326
特別利益	17	0
固定資産処分益	17	0
特別損失	351	258
固定資産処分損	166	111
減損損失	184	147
金融商品取引責任準備金繰入額	0	0
税金等調整前四半期純利益	10,235	10,068
法人税、住民税及び事業税	2,972	2,474
法人税等調整額	129	431
法人税等合計	3,102	2,905
四半期純利益	7,133	7,162
非支配株主に帰属する四半期純利益	248	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,885	7,162

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	7,133	7,162
その他の包括利益	△40,588	19,422
その他有価証券評価差額金	△38,499	19,744
繰延ヘッジ損益	△2,106	△239
退職給付に係る調整額	17	△81
四半期包括利益	△33,455	26,585
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△33,735	26,585
非支配株主に係る四半期包括利益	280	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 四半期決算補足説明資料

※増減比較については、表上にて算出しております。

(1) 損益の状況【単体】

経常利益は、その他業務利益は減少しましたが、臨時損益が増加したことにより、前年同期比9億円増加して90億円となりました。また、四半期純利益は、前年同期比14億円増加して70億円となりました。

(単位 百万円)

	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	比較	2024年3月期 通期予想
	A	B	B - A	
業 務 粗 利 益 (除く国債等債券損益(5勘定戻))	37,982 (43,365)	27,931 (38,562)	△10,051 (△4,803)	
資 金 利 益	35,609	33,512	△2,097	
役 務 取 引 等 利 益	4,535	6,111	1,576	
そ の 他 業 務 利 益 (うち国債等債券損益)	△2,163 (△5,382)	△11,692 (△10,630)	△9,529 (△5,248)	
経 費	29,790	29,862	72	
人 件 費	16,589	16,243	△346	
物 件 費	11,534	11,883	349	
税 金	1,666	1,735	69	
実 質 業 務 純 益 (注) 1	8,191	△1,930	△10,121	
コ ア 業 務 純 益 (注) 2	13,574	8,700	△4,874	
コ ア 業 務 純 益 (除く投資信託解約損益)	13,573	10,173	△3,400	
① 一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	500	652	152	
業 務 純 益	7,691	△2,583	△10,274	△2,100
臨 時 損 益	400	11,641	11,241	
② 不 良 債 権 処 理 額	1,839	1,280	△559	
貸 出 金 償 却	0	0	0	
個 別 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	1,838	1,280	△558	
株 式 等 関 係 損 益	2,172	12,818	10,646	
株 式 等 売 却 益	2,390	13,038	10,648	
株 式 等 売 却 損	216	216	0	
株 式 等 償 却	1	2	1	
そ の 他 臨 時 損 益	67	104	37	
経 常 利 益	8,091	9,058	967	8,800
特 別 損 益	△332	△253	79	
税 引 前 四 半 期 純 利 益	7,759	8,805	1,046	
税 金 費 用 (注) 3	2,142	1,784	△358	
四 半 期 純 利 益	5,617	7,020	1,403	6,200
(与信関係費用(①+②))	(2,339)	(1,933)	(△406)	

(注) 1. 実質業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額

2. コア業務純益 = 実質業務純益 - 国債等債券損益

3. 「税金費用」には、「法人税、住民税及び事業税」及び「法人税等調整額」の合計額を記載しております。

(2) 貸出金等の状況

◆銀行法・金融再生法開示債権

(注) 記載金額は億円未満を四捨五入しております。なお、比率については、小数点第2位未満を切り捨てて表示しております。

【単体】

(単位 億円、%)

	2023年12月末			2023年9月末	2022年12月末
		2023年9月末比	2022年12月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	98	△11	△11	109	109
危険債権	440	△9	△25	449	465
要管理債権	72	3	3	69	69
うち三月以上延滞債権	0	0	△1	0	1
うち貸出条件緩和債権	72	3	4	69	68
小計 (A)	610	△18	△33	628	643
正常債権	45,362	219	693	45,143	44,669
債権合計 (B)	45,972	201	660	45,771	45,312
債権合計に占める割合 (A÷B)	1.32	△0.05	△0.09	1.37	1.41

(参考) 部分直接償却は実施しておりませんが、実施した場合は下記のとおりであります。

(単位 億円、%)

	2023年12月末			2023年9月末	2022年12月末
		2023年9月末比	2022年12月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	49	△24	△6	73	55
危険債権	440	△9	△25	449	465
要管理債権	72	3	3	69	69
小計 (C)	561	△31	△28	592	589
正常債権	45,362	219	693	45,143	44,669
債権合計 (D)	45,924	189	666	45,735	45,258
債権合計に占める割合 (C÷D)	1.22	△0.07	△0.08	1.29	1.30

【連結】

(単位 億円、%)

	2023年12月末			2023年9月末	2022年12月末
		2023年9月末比	2022年12月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	113	△11	△11	124	124
危険債権	449	△10	△23	459	472
要管理債権	72	3	3	69	69
うち三月以上延滞債権	0	0	△1	0	1
うち貸出条件緩和債権	72	3	4	69	68
小計 (a)	634	△18	△31	652	665
正常債権	46,142	251	736	45,891	45,406
債権合計 (b)	46,776	233	705	46,543	46,071
債権合計に占める割合 (a÷b)	1.35	△0.05	△0.09	1.40	1.44

(3) 自己資本比率 (国内基準)

「自己資本の構成に関する開示事項」につきましては、OKBホームページ (<https://www.okb.co.jp>) に掲載しております。

【連結】	(単位 百万円、%)		(参考)(単位 百万円、%)
	2023年12月末	2022年12月末	2023年9月末
自己資本比率	8.76	8.66	8.66
自己資本の額	271,317	269,656	266,949
リスク・アセット	3,094,801	3,110,394	3,080,814
総所要自己資本額	123,792	124,415	123,232

【単体】	(単位 百万円、%)		(参考)(単位 百万円、%)
	2023年12月末	2022年12月末	2023年9月末
自己資本比率	8.22	8.08	8.10
自己資本の額	247,148	244,387	242,457
リスク・アセット	3,003,737	3,024,560	2,991,825
総所要自己資本額	120,149	120,982	119,673

(4) 預金・貸出金等の状況【単体】

◆預金・貸出金の残高 (単位 億円)

	2023年12月末			2023年9月末	2022年12月末
	2023年9月末比	2022年12月末比			
預金等(注)	58,002	235	345	57,767	57,657
うち個人預金	41,593	469	72	41,124	41,521
貸出金	45,462	198	677	45,264	44,785
うち消費者ローン	18,924	△21	△110	18,945	19,034

(注) 預金等には譲渡性預金を含んでおります。

◆個人預り資産の状況 (単位 億円)

	2023年12月末			2023年9月末	2022年12月末
	2023年9月末比	2022年12月末比			
投資信託	1,362	36	180	1,326	1,182
生命保険(注)	6,566	260	897	6,306	5,669
公共債	472	4	△77	468	549
外貨預金	109	△15	△28	124	137
合計	8,511	286	973	8,225	7,538

(注) 生命保険は、販売累計額であります。

上記の他、2023年12月末におけるOKB証券株式会社の預り資産残高は954億円であります。

(5) 有価証券の評価損益

【連結】

(単位 億円)

	2023年12月末			2023年9月末			2022年12月末		
	評価損益			評価損益			評価損益		
	評価益	評価損		評価益	評価損		評価益	評価損	
満期保有目的	△1	0	2	△2	0	2	△2	0	2
その他有価証券	520	922	401	415	1,006	590	37	674	636
株式	877	877	0	964	965	0	638	641	2
債券	△130	4	134	△155	4	159	△141	5	147
その他	△225	40	266	△393	36	429	△459	28	487
合計	519	923	403	413	1,006	593	35	675	639

(注) 「その他有価証券」については時価評価しておりますので、上記の表上は貸借対照表計上額と取得原価との差額を計上しております(組合出資金を除く)。

【単体】

(単位 億円)

	2023年12月末			2023年9月末			2022年12月末		
	評価損益			評価損益			評価損益		
	評価益	評価損		評価益	評価損		評価益	評価損	
満期保有目的	△0	0	0	△0	0	0	△0	0	0
その他有価証券	497	899	401	393	983	590	22	658	636
株式	853	854	0	942	943	0	622	625	2
債券	△130	4	134	△155	4	159	△141	5	147
その他	△225	40	266	△393	36	429	△459	28	487
合計	497	899	402	392	984	591	21	659	637

(注) 「その他有価証券」については時価評価しておりますので、上記の表上は貸借対照表計上額と取得原価との差額を計上しております(組合出資金を除く)。

以上